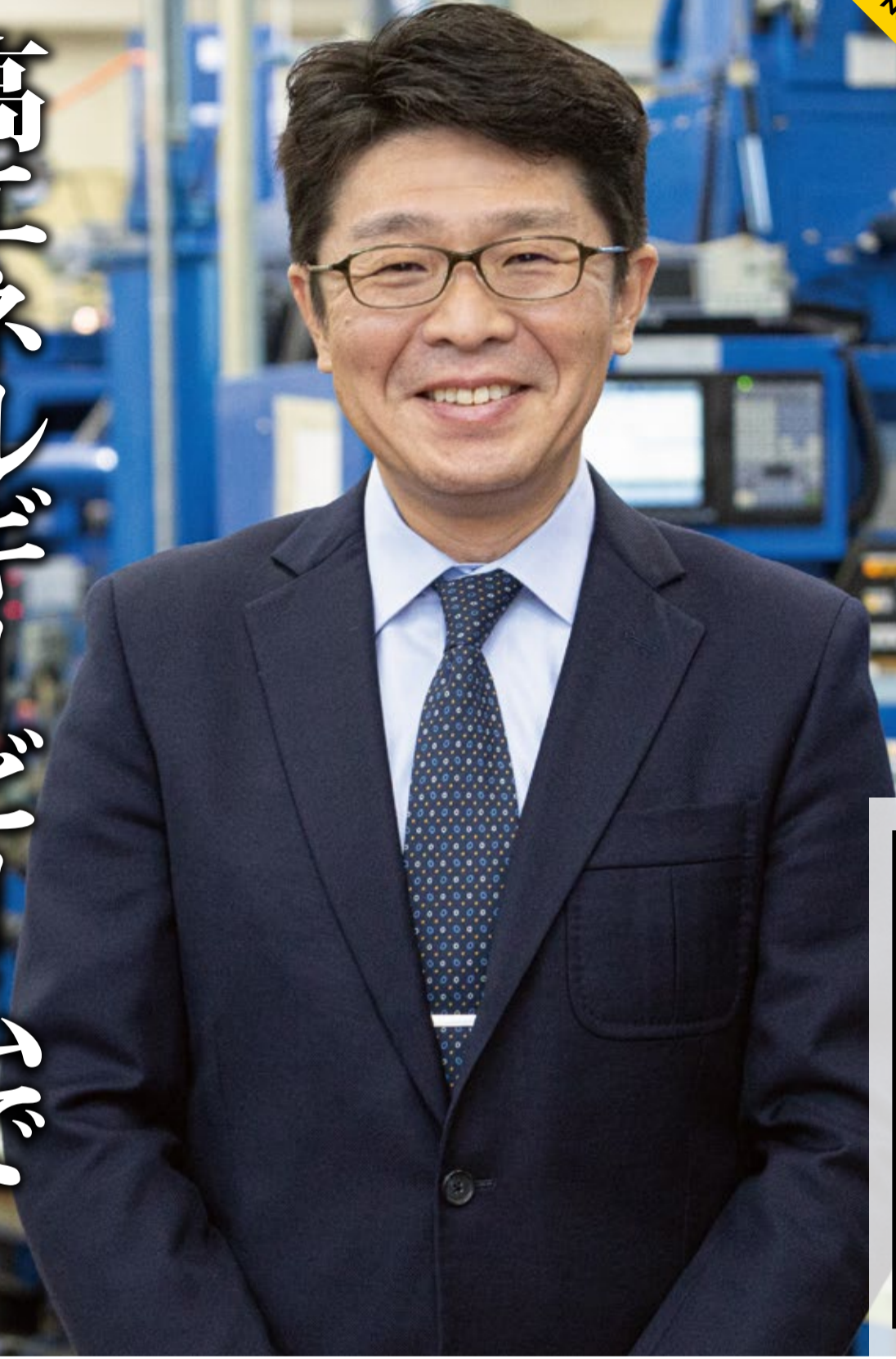


高エネルギービームで ものづくりの未来を拓く



多摩の企業人

『私の決断』

Vol.77

東成エレクトロビーム株式会社

代表取締役社長

うえの くにか

上野 邦香氏

1970年東大和市生まれ。大学院卒業後、半導体のプロセスエンジニアとして関西の電機メーカーに7年間勤務。2001年、父・上野保氏が経営する東成エレクトロビームに入社。常務取締役、専務取締役、副社長を経て12年代表取締役社長に就任。子会社の東成イービー東北株式会社の代表取締役社長を兼任。現在、レーザ協会の理事を務める。趣味はスキー、ゴルフ。
西多摩郡瑞穂町高根 651-6 TEL: 042-556-0611
<https://www.tosei.co.jp>

東成エレクトロビームは電子ビーム

やレーザーを使った高エネルギービーム加工で国内トップの技術を誇る。その卓越した技術で「はやぶさ2」の製造プロジェクトに参加。小惑星のサンプル採取に必要な人工クレーターを作る衝突装置の溶接を手掛けた。装置はステンレス鋼の円盤の内側に銅の円盤をはめ込んだ構造。異なる素材同士の溶接という難しい課題に挑み、見事成功させた。

退路を断って承継

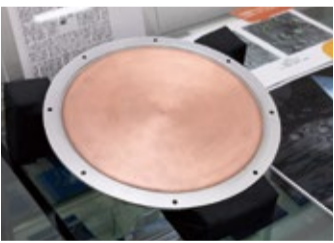
上野社長は当初、父親の会社を継ぐとは考えていなかったという。「父は私の就職先が決まるまで、一言も継いでほしいとは言いませんでした。ところが明日が電機メーカーへの入社式という日、『承継という選択肢もあるよ』と初めて言ったのです。即座に断りました」と上野社長は話す。

その後、何度も話があったが「No」と言い続けた。気持ちが変わったのは、「自分が継がないと父が苦労して築き上げた会社はどうなるのだろう」と思い始めてから。「頼まれて継ぐのではなく、退路を断つて前進あるのみ」と、自分から「やらせてください」と頼み込んだ。覚悟を決めて入社したものの、先代とは衝突することが多かったという。

「父はカリスマでワンマン。私はそれに反発し、いつも激しくぶつかり合っていました」。

衝突ばかりしている様子を見て、ある日、妻が言った。

「40歳も過ぎて、自分の人生として受け入れないと見苦しいわよ」と。その一言が父との関係改善に向かわせた。以来、上野社長は周りの人の苦言に耳を傾けることを心掛けている。



はやぶさ2に搭載された小惑星のサンプル採取用衝突装置

加工業の未来を真剣に考え続けた上野社長が行き着いた答えは、装置メーカーへの挑戦だ。それは「メーカーになりたい」と言っていた先代の夢を実現することでもある。

10年かけて自社製品を開発

常務時代、先代が各種補助金を活用してレーザークリーニング装置の開発を始めた。「すでにドイツ製の製品があるのに、今さら作っても」と冷やかに見ていた上野社長だったが、作った製品が売れず、周りから「補助金泥棒」と言われると、反骨心に火が付いた。「大きいものが売れないなら小さいものを」「内製化してコストを下げ、低価格のものを」と、あきらめずにコツコツと改善を重ねた。そして開発を始めて10年後の2014年、レーザー光を金属に照射して表面の樹脂、錆び等を除去する装置「レーザー」を発売した。念願の自社製品の売れ行きは今も好調だ。これに満足することなく、第二、第三の自社製品開発に向けて、まだまだ挑戦を続けている。

上野社長が経営で一番大事にしているのは人と人、企業と企業の「つながり」だ。「日本でものづくりを継続するには中小企業同士が強みを補完し合う必要がある」と積極的に企業間連携に参加。埼玉県入間市周辺の5社でつくる加工受託集団「チーム人間」は、世界最小レベルのマイクロギアボックスを協同製作する等の実績を築いた。また、都内の航空機部品サプライヤー企業のネットワーク「T.M.A.N」にも参加し、多工程発注要請に応えられる体制を構築している。

「20年後も日本がものづくりで誇れる国であるために何をすべきか」。上野社長の目は、常に日本のものづくりの未来に向いている。



10年かけて開発したレーザークリーニング装置「レーザー」

たま産業ニュース

『たまNAVI』
大手企業送付先数
合計 **274** 先
全国に広がる
ネットワーク!!

- 機械・電気機器 45先
- 鉄鋼・非金属 5先
- 化学 5先
- 繊維 4先
- 建設 10先
- 陸運・運輸 4先
- 商業・サービス 16先
- 百貨店・スーパー 15先
- 食品 7先
- 商社 17先
- その他製造 25先
- 情報・通信 5先
- マスコミ 23先
- 行政・大学・経済団体 93先

在宅医療機器専門のレンタル会社 訪問診療医と連携し24時間体制で対応

東京
ホームケア

東京ホームケア（東久留米市、青木久社長、042・420・9455）は「在宅酸素・人工呼吸療法」を中心とした在宅医療機器専門のレンタル会社。主な顧客は都立・公立病院や一般医療機関で、配送エリアも千葉、神奈川を含めた関東一円と広域だ。

最近では患者の意思を尊重する「インフォームド・コンセント」や「アドバンス・ケア・プランニング」などを実践する訪問診療医が増えている。「最期を自宅で迎えたい」という重篤患者にも対応し、深夜に急きょ医療機器が必要となるケースもある。そこで、2020年に休日・夜間に対応する関連会社「ホームケアサージャ」を設立し、三交代による365日24時間体制を整えている。

また、新型コロナウイルス拡大で酸素濃縮器等の需要が急増。さまざまなルートで駆使して機器を集め、必死に要望に応えた。

「深夜対応が多くて厳しかったが、がんばるしかないと思った」と青木社長。同社は創業翌年に起きた東日本大震災でも福島県などの避難所に何度も医療機器を届け、医療従事者と目標を合わせることを常に大切にしてきた。



「営業は一切行わず、医療従事者向けの勉強会を開催して、要望を聞くようにしています。強引な営業は医療をゆがめてしまいます。先生方と価値観を共有し、コミュニケーションをしっかりと取って信頼関係を築いていきます」と青木社長は話す。

「住まいの困りごと」に幅広く対応 DIY教室やカフェ運営で地域に密着

大結技建

大結技建（府中市、小林勇太社長、042・316・9575）は個人宅や大規模マンション等の内装・外装のリフォームを行う建設会社。キッチンや浴室交換などの水廻り、エアコンの取付、家具製作、引っ越しに際しての不動産売買まで、全て自社で行っている。幅広い業務を内製化することで、コストを抑えることも、「顧客と常に顔が見え、何でも相談できる関係」を築き、

「住まいに関する困りごと」に柔軟に対応できるのが強みだ。

最近では本格的なDIYを行う人も増えている。自分で作業したい人向けに、DIYサポートや講習会も行う他、ガレージや工具の貸し出しも行っている。

また、古材・廃材を使ったりリフォームにも応じている。

「要望によっては目に見えない部分の下地材に活用してコストを削減したり、独特な風合いを生かしてあえてインテリアの一部として使用することもある。」

2022年にはオフィス2階に廃材等を活用して自社施工したカフェ「Daze」をオープンした。米国フロリダで人気のサンドイッチ「キューバサンド」の府中版として「フチュールパサンド」を販売する他、整体や鍼の施術も行っている。さらにキッチンカーも所有し、府中競馬場の花火大会に出店するなど、地域活動にも取り組んでいる。

「大工しごとを体験できる子ども向けワークショップを開催するなど、楽しく地域を盛り上げていきたい。若い世代に建築職人の仕事に興味を持ってもらい、大工を子どもの憧れの職業に返り咲かせたい」と小林社長は話す。

日本最大級のインドアゴルフ場をオープン 全20打席に最新鋭シミュレーターを導入

丸福商事

パチンコ店を展開する丸福商事（昭島市、木村敏郎社長、042・543・5211）は、新たな事業として2022年10月にインドアゴルフ施設「honobbo Golf」をオープンした。

全20打席を有する日本最大級の広さが特長で、全ての打席にダンロップ社製の最新のオートティーアップ機能付きゴルフシミュレーター「SDR」が導入されている。スクリーン上に忠実に再現される国内の人気コースをラウンドして楽しむ。

「オープン当初は『インドアゴルフなんてゲームだろ？』という声もありましたが、一度体験いただくとほとんどのお客さまが満足されます。個人練習やプロレッスンも冷房完備の室内練習場で天候に左右されず快適に練習できます」と事業開発部次長の設楽哲也氏は話す。

ゴルフ事業というまったく新しい事業へのチャレンジだったが、設楽氏はゼロから人脈を築き、「honobbo Golf」を立ち上げた。会員も順調に増え現在400人を超えるという。

23年12月にはシニアプロのインドアゴルフ大会の開催を予定している。

実施している。



野猿街道沿いにある「D-kitchen」



スポーツ留学経験もあり、アスリート採用などを行っている小林社長

「営業は一切行わず、医療従事者向け勉強会を開催して、要望を聞くようにしています。強引な営業は医療をゆがめてしまいます。先生方と価値観を共有し、コミュニケーションをしっかりと取って信頼関係を築いていきます」と青木社長は話す。

「要望によっては目に見えない部分の下地材に活用してコストを削減したり、独特な風合いを生かしてあえてインテリアの一部として使用することもある。」

2022年にはオフィス2階に廃材等を活用して自社施工したカフェ「Daze」をオープンした。米国フロリダで人気のサンドイッチ「キューバサンド」の府中版として「フチュールパサンド」を販売する他、整体や鍼の施術も行っている。さらにキッチンカーも所有し、府中競馬場の花火大会に出店するなど、地域活動にも取り組んでいる。

「大工しごとを体験できる子ども向けワークショップを開催するなど、楽しく地域を盛り上げていきたい。若い世代に建築職人の仕事に興味を持ってもらい、大工を子どもの憧れの職業に返り咲かせたい」と小林社長は話す。

パチンコ店を展開する丸福商事（昭島市、木村敏郎社長、042・543・5211）は、新たな事業として2022年10月にインドアゴルフ施設「honobbo Golf」をオープンした。

全20打席を有する日本最大級の広さが特長で、全ての打席にダンロップ社製の最新のオートティーアップ機能付きゴルフシミュレーター「SDR」が導入されている。スクリーン上に忠実に再現される国内の人気コースをラウンドして楽しむ。

「オープン当初は『インドアゴルフなんてゲームだろ？』という声もありましたが、一度体験いただくとほとんどのお客さまが満足されます。個人練習やプロレッスンも冷房完備の室内練習場で天候に左右されず快適に練習できます」と事業開発部次長の設楽哲也氏は話す。

ゴルフ事業というまったく新しい事業へのチャレンジだったが、設楽氏はゼロから人脈を築き、「honobbo Golf」を立ち上げた。会員も順調に増え現在400人を超えるという。

23年12月にはシニアプロのインドアゴルフ大会の開催を予定している。



打席プレートがコースの地形に合わせて自動で傾斜する

「me:rise (ミライズ) 立川」貸会議室のお知らせ

2023年2月、「me:rise (ミライズ) 立川」がオープンしました。1-2階はたましん地域/未来共創センターのワーキングスペース、インキュベーションオフィス、サテライトオフィス、3階にはカンファレンスルーム（貸会議室）をご用意しました。

カンファレンスルームはどなたでもご利用できる貸会議室です。roomA、roomB、roomCの大小3部屋があります。roomAとroomBは、天井吊り下げ型プロジェクターとスクリーンを用意。会議、商談、面接、セミナー、講演会、入社式等さまざまな用途でご利用いただけます。

ご利用料金、ご利用時間、備品・設備などの詳細は、<https://www.rental-tjmedia.jp> をご覧ください。申し込み方法はHP受付フォームのみとなっています。

「me:rise 立川 Conference Room」
住所：東京都立川市曙町 2-8-28 TAMA MIRAI SQUARE 3階
最寄り駅 JR立川駅北口および多摩モノレール立川北駅から徒歩5分
営業時間：平日9:00～20:00
土日祝日 9:00～19:00 (12/31-1/3除く)

roomAとroomBは一つの会議室としての利用も可能

roomCは8人程度で利用できる完全個室の会議室

景況トピックス

「食べられるサンタ」で夢を販売 ハロウィン装飾で売り上げも順調

アートキャンディ



企業ブランディングに取り組む門倉社長

アートキャンディ(小金井市、門倉美英社長、042・386・0137)は

ト用商品の企画・製造・販売を行っている。かつてケーキ用の装飾は

ベトナムの工場で製造している。メレンゲドールは砂糖を

イシングクッキーはもちろ



「メレンゲドール」は手作りのため、世界に一つしかない

「安心して口にできる飾菓を作ろう」と一念発

「大変な作業ですが、買ってくださった人が笑顔になるのが何よりうれしい」と門倉社長。品質管理も徹底し、全ロット検査を実施する。

2013年に事業を引き継いだ門倉社長は、企業ブ

ランディングに取り組んでいる。ビジネススマナーやマーケティングを強化し、異業種4社との勉強会を行ったり、熊本工場と佐賀工場の合同研修やオンライン会議を実践している。さらに、生産体制を見直すために佐賀工場のリニューアルも決定した。

「100年続く企業を目指し、企業の品格を上げていきたい」と門倉社長は話す。

得意分野は小ロット・多品種・高精度加工 「KSEグループ」3社で一貫生産体制

KS精機(西多摩郡瑞穂町、葛西正和社長、042・557・8645)は5軸制御立体マシニングセンタをはじめNC旋盤、ワイヤカットの最新設備をそろえ、半導体製造装置や検査装置、省力化装置など産業機械の部品加工を手掛けている。

アルミやステンレス、鉄、銅などの素材の柔軟で高精度の加工を得意とし、「高品質・低価格・短納期」を実現している。

設立は2004年。父・次男氏が社長を務める機械設備製造の「ケー・エス・イー」・兄・裕之氏が社長の機械制御設計を行う「NSE」があり、3社で「KSEグループ」を形成している。グループ3社で大手企



品質の良さが定評の機械部品



5軸制御立体マシニングセンターの前で、葛西正和社長

業などからの依頼を受託し、設計から開発、組み立てまでを分担して行い、受注から納品まで一貫した生産体制を構築している。3社それぞれの特色を生かした技術力と万全のフォローアップ体制、そしてワンストップで依頼できる点が強みだ。同社はKSEグループによる仕事が6割近くを占めるが、「社員のモノづくりへのモチベーションを高め」と葛西社長は語る。

「凶面一枚に対して1点の製品を作るという注文が多く、小ロット生産を得意としています。多彩で細かなニーズにも対応します」と葛西社長は語る。

事業継続計画(BCP)に対する東京都企業の意識調査

「策定意向あり」は4年連続5割台

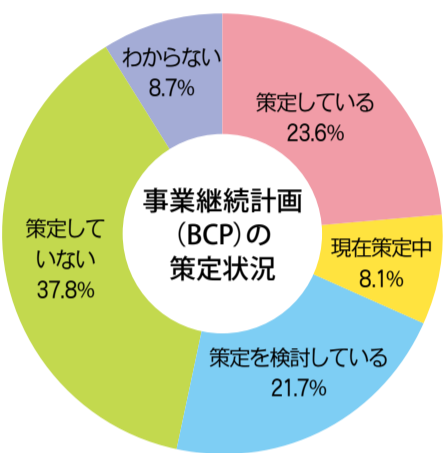
毎年のように風水害や土砂崩れ等の自然災害が発生し、新型コロナウイルスの感染症拡大、不穏な海外情勢やサイバー攻撃など企業の経営リスクは高まり、危機管理が強く求められている。帝国データバンクは事業継続計画(BCP)に対する東京都の企業の見解について調査を実施した(調査期間2023年5月18日~31日。有効回答は2057社)。

「策定意向あり」の企業は53.4%になり、20年から4年連続して50%を上回った。「策定意向あり」企業に、どのようなリスクを想定しているかを尋ねたところ、地震、風水害、噴火などの「自然災害」が71.8%と最も高くなった。次いで「情報セキュリティ」のリスクが46.7%、「感染症」は前回の54.4%から13.6ポイント低下の40.8%とな

と答えた企業に、策定しない理由を尋ねたところ、「策定に必要なスキル・ノウハウがない」39.3%、「策定する人材が確保できない」31.4%、「策定する時間を確保できない」27.6%、「自社のみで策定しても効果が期待できない」25.2%、「実践的に使える計画にすることが難しい」24.7%、「必要性を感じない」21.6%という回答があがった。

自社におけるBCPの策定状況を尋ねたところ、「策定している」企業の割合は23.6%で、前回調査(22年5月)から0.6ポイント増加した。「現在策定中」は8.1%、「策定を検討している」21.7%となった。これら3項目を合計

していない(37.8%)が多い。



廃業危機乗り越え伝統技術を継承 シエア7割、国内最大の三味線メーカー

東京和楽器

東京和楽器(八王子市、大瀧勝弘代表、042・625・1383)は三味線の国内シェア7割を占める最大手メーカー。長唄などに使われる細棹三味線から地唄や民謡の中棹三味線、義太夫節や津軽三味線の太棹三味線にいたるまで多種多様な三味線を、革を張って仕上げる前の段階まで製造している。また、上場が

数多くのパーツで構成される。同社は三味線構造に特化した135台の工作機械を導入。人と機械の技を融合させて、効率的でありながらさまざまなニーズに応えられる高品質な三味線製作で邦楽界を支えてきた。杉並区阿佐ヶ谷にある大瀧邦楽器から独立し、三味線専用メーカーとしてスタートしたのが2002年。当時は津軽三味線ブームもあって年間1000丁近くを製造していたが、その後は年々減少。リーマンショック、消費税率引き上げ等で受注が激減し、コロナ禍がそれに輪をかけた。

舞台公演や演奏会の中止で新調も修理の依頼もほとんどない事態に。先の見通し

が立たず、断腸の思いで廃業を決めた。それを知った邦楽界は動き出す。伝統の灯を消すなと募金活動が始まり、文化庁も「選定保存技術」に指定して支援を決定。こうした声に応えて

には製造数が年間約250丁まで回復し、修理の依頼は1000丁を超えた。大瀧代表は「三味線を愛する多くの方の声に応え、製造継続を決めました。子どもでも弾ける三味線の開発に取り組むなど、需要喚起に向けて努力していきたい」と話す。



伝統の技を駆使して三味線を製造する



東京和楽器の三味線はプロや愛好家から高い信頼を得ている

金属加工の課題を解決する機器を製造販売 新たに「エア漏れ診断サービス」開始

富士機工

金属加工機械の総合メーカーである富士機工（武蔵村山市、柴崎一正社長、042・560・7871）は加工ニーズに対応したアイデア金型をはじめ、加工現場の課題解決に役立つさまざまな機器を開発し、製造・販売している。8割以上が直販で、取引先は北海道から沖縄まで全国1万社を超える。

創業は1973年。切断、切り欠き、穴あけ、曲げなど多種多彩なアイデア金型を数多く開発してきた。これらは安全で効率良く、誰でも簡単に扱えるという好評で、創業時に開発した金型は今も売れ続けている。

ボタンひとつで金型の交換が完了する油圧プレス機「デスクロータリー」やボール盤にNCを取り付けが簡単で位置決めができる「ボール盤NC」なども開



本社ショールームで自社製品について説明する柴崎社長

こだわりの八王子ラーメン専門店が登場 開店数カ月で女性・シニア層などの常連客も

らぁ麺 金蔵

らぁ麺 金蔵（八王子市、新田雅一代表、042・666・1149）は2023年4月に、八王子市の秋川街道と高尾街道が交わる榎原町に同名の八王子ラーメン専門店をオープンした。翌月には店舗前にスーパードラッグストア、飲食店などが入居した駐車場

330台を有するショッピングセンター「フォルテ八王子」が開業し、好立地のスタートとなった。

八王子生まれ・八王子育ちの新田代表は子どもの頃から大の八王子ラーメン好き。地元の運送会社に27年間勤務したが、その間も市内のラーメン店を食べ歩き、自分がかうまいと思う味を追求し続け、たどり着いた味を店で提供している。

八王子ラーメンの定義は醤油ダレベースのスープに刻み玉ねぎが入っていて、表面は脂でコーティングされ、パンチが強いこと。しかし、金蔵のスープは5種類の魚介出汁による旨みと、甘さが特徴。そこに太いメンマ2本と海苔、チャーシュー1枚をトッピング。オープンしてまだ数カ月だが「しょっぱくない、甘くておいしい」と評判となり、女性やファミリー、シニアなどの常連客も多くなった。



「おいしいラーメンを作ることが何より楽しい」と新田代表

新田代表は「まだまだおいしいラーメンを極めたい」と、今でも店舗2階の休憩室に寝泊まり



メンマやチャーシュー、脂にもこだわった金蔵のラーメン

する特注品の製造にも力を入れている。

同社は新規事業として2023年秋から「エア漏れ診断サービス」を開始する。製造現場では多くの場所ですコンプレッサーが使用されているが、配管ホース等からのエア漏れは目に見えず臭いもないため、気付かないケースが多い。このサー

ビスにより高騰する電気代を削減し、CO2排出量を減らすことが可能だ。

「当社は2023年、創業50周年を迎えました。今後もお客さま第一に特化し、より深化させ、多くのお客さまにご満足いただける製品やサービスの提供に努めていきます」と柴崎社長は話す。



50周年記念動画（HPに掲載）で紹介した自社製品「ボール盤NC」

「気持ち良く働ける」電気工事会社をを目指す 半導体の冷却空調機の組立て工場も開設

英工業

英工業（八王子市、佐々木英治社長、042・629・9808）は八王子市を中心に多摩地域で、エアコンなどの空調設備工事や照明器具の入れ替え、コンセント増設などの電気工事をしている。一般住宅からビル等大規模施設の新設・改修・保守に幅広く対応する他、最近では製造などの分野にも挑戦している。

佐々木社長は、建築部品会社や空調設備工事会社勤務後、2017年に同社を創業した。

以来順調に売り上げを伸ばし、現在は100社を超える企業と取引がある。一人の顧客から工事代金をいただくより

は、企業同士の取引をした」と、大手の建材・住宅メーカーなどからの請負工事が中心だ。

創業以来のポリシーは「関わる全ての人が幸せであるように」。佐々木社長が同社を立ち上げたのは、自らの社員時代を振り返り、上司や先輩に抱いた疑問や思いから「収益一辺倒にならない一人一人が尊重され、気持ち良く働ける会社を作りたい」という思いからだ。

社員とのコミュニケーション



「多くの人とのつながりでここまで来ました」と佐々木社長



空調機の組立てのための溶接作業

めに、屋内で作業できる工場を西八王子に開設。半導体を冷却する空調機器の組立てやロウ付けなどの溶接作業を担当している。

佐々木社長は将来的には「全ての人が幸せであること」を目指した職人の学校を立ち上げる構想を持っている。

「多店舗化や売上を伸ばす」多摩・埼玉エリアで実績多数 タイル職人を抱える老舗建設会社

ハナダ

ハナダ（東久留米市、花田主税社長、042・473・6089）はタイル職人を複数人抱え、タイルや石工を行っている建設会社。多摩エリアの他、埼玉県飯能市や川越市にまで事業を拡大し、30〜40の工務店やリハウスメーカーと取引をしている。

コロナ禍で減少した工事もち直し、小学校や病院、建売住宅、店舗などの壁面タイルや床工事等を行っている。例えば、総合学園の工事では複数の校舎の内装工事を担った他、百貨店で

は柱の耐震工事に伴うタイルの張替えを実施。埼玉県の大規模工事いくつか受託し、2022年には1500㎡のマンション壁面のタイル工事、23年には洋菓子製造工場の床タイル貼りをしている。

かつて風呂場やトイレ等に使用されたタイルだが、



花田正幸会長から会社を引き継いだ花田社長

現在は個性を出すためのインテリアの一部として活用される場合も多い。大手不動産会社では「オンリーワン」の住宅を指し、数色のタイルを組み合わせて貼ったり、大手企業本社の工事ではレンガをあえて雑に貼って旧倉庫のような使用感を演出。タイルメーカー20社以上と取引し、あらゆるタイルを取りそろえる。

「設計士やコーディネーターがこだわると、さまざまなデザインが生まれる。それを忠実に仕上げ



デザイン性も取り入れた大理石モザイク

るのが醍醐味です」と花田社長。今後はクリップを使用して大型タイルの仕上げ精度を高める「タイルクリップ工法」など、新しい技術を習得してさまざまなタイルにも対応していくという。

外構・エクステリア工事に幅広く対応 細部まで妥協しない施工で美しい仕上がり

Luz

Luz（ルス）八王子市、渡邊拓人社長、042・649・7111）は玄関アプローチや駐車場、カーポート、門扉、塀、ウッドデッキなど外構・エクステリア工事を幅広く請け負っている。

渡邊社長は建設会社で16年間外構工事やエクステリア工事の経験を積んだ後、2017年に個人事業主として独立。関東全域をエリアに卓越した技術で業績を伸ばし、22年に法人化した。



渡邊社長（右から2人目）と高い技術を持つ社員たち

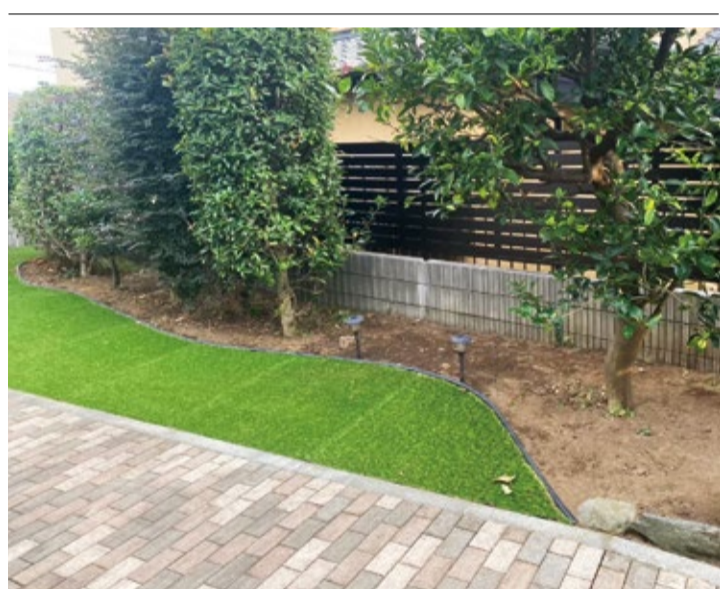
社名の「Luz」はスペイン語で「明かりを灯す」という意味。庭に明かりを

家族に笑顔を「をスローガンに、住宅の外回りを明るく快適な空間に仕上げる工事に全力で取り組んでいる。顧客と何度も打ち合わせを重ねてイメージを共有し、顧客の要望に徹底して応えるのが同社のモットーだ。渡邊社長は「見えない場所にもこだわり、細部まで妥協しない施工を心掛けています」と強調する。

また、既存の部品を加工して特殊な形のもの施工

「例えば、お店のイメージカラーやコンセプトに合わせたケーキなども店舗で製造することなく、お好みの商品を販売することが可能です。店舗力アップに貢献します」と速水社長。

また、新たに防水工事もスタートした。協力会社に依頼して電気工事、解体工事、設備工事なども請け負っている。



空間を広く見せる工夫をした施工例。防草シートを張った上に人工芝を敷いている

スイーツのOEM受注で店舗を支援 店舗コンセプトに合わせた商品を提供

ボニーデコスイーツ

ボニーデコスイーツ（立川市、速水元樹社長、042・508・3351）は

品へと具現化した安定的に供給する。

製造ロットもケーキの場合、通常約1000個単位

手オーナメント会社に約20年所属し、営業部門で菓・製パン業界、大手外食チェーンなど複数のクライアントを担当した。その後、営業統括本部でドレスケーキの発案、キャ

ボニーデコスイーツでは速水社長のキャリアをフルに生かし、店舗の負担を最小限に抑えながら、パティスリーレベルの店舗オリジナルスイーツを実現する。現在は秋葉原などのコンセプトカフェを中心に受注を獲得しているが、「今後は多摩

地域のケーキ店やカフェも支援していきたい」と速水社長は話す。

「例えば、お店のイメージカラーやコンセプトに合わせたケーキなども店舗で製造することなく、お好みの商品を販売することが可能です。店舗力アップに貢献します」と速水社長。

ケーキの完成品はもちろん、部材ごとの半製品、テイクアウト用に個包装した冷凍品、飾りパーツなど、店舗の要望や状況に合わせて提供内容がさまざま。



店舗のイメージカラーに合わせて提供可能

ボニーデコスイーツでは速水社長のキャリアをフルに生かし、店舗の負担を最小限に抑えながら、パティスリーレベルの店舗オリジナルスイーツを実現する。現在は秋葉原などのコンセプトカフェを中心に受注を獲得しているが、「今後は多摩

ボニーデコスイーツでは速水社長のキャリアをフルに生かし、店舗の負担を最小限に抑えながら、パティスリーレベルの店舗オリジナルスイーツを実現する。現在は秋葉原などのコンセプトカフェを中心に受注を獲得しているが、「今後は多摩



オーナメントで装飾し、かわいらしさを演出

ほのぼののしんちゃん

「貸会議室サービス拡充」の巻



「me:rise(ミライズ)立川」の貸会議室がより便利になりました

2023年3月にオープンした貸会議室「me:rise(ミライズ)立川Conference Room(カンファレンス ルーム)」が、利用時間の拡大やコンテンツの追加などでより便利になりました。事前の内覧等も行えます。ご希望の場合はBOB事務局または、me:rise立川Conference Roomまでご相談ください。
■me:rise立川 Conference Room / 住所: 立川市曙町2-8-28 TAMA MIRAI SQUARE 3階 / TEL:042-526-7750 / ホームページ: <https://www.rental-tjmedia.jp>

経営ヒントの玉手箱

第77回

税理士法人ミット 社員税理士

中西 祐介



「たましん」専門家リレーコラム

税理士としてよく相談を受けるものの中に「節税」があります。納税者としていかに税金を安くできるかは、誰もが関心のある事項だと思いますが、中には「税金アレルギー」と呼べるほど節税に関心が強い方もいらっしゃいます。しかしその節税対策は今必要でしょうか？節税のためのその支出で、かえって資金繰りや経営状況を悪化させていないでしょうか？

資金繰り悪化を招く節税のための過度な支出

法人税や個人事業主の事業所得に係る所得税等、所得に係る税金は、収入(益金)から経費(損金)を差し引いた利益(所得)に対して税率を乗じて求められます。税額を安くするためには所得を下げる必要がありますが、そのためには何か経費を作らなければいけません。あわせて自動車やパソコンを購入したり、必要とする保障以上の大型の役員保険を組まれたりする方がいらっしゃいます。仮に法人税等で100万円の節税を図るならば、実効税率を35%として、300万円程の経費を作る必要があります。自動車等の固定資産ですと、減価償却によって経費化されていきますので、償却期間を考慮するともっと高額な支出となるかもしれません。個人的な感覚となりますが、節税を図りたいからといって何かモノの購入を相談してくる事業者は、資金繰りの状況が元々良くない事業者が多いです。2カ月後の納税額を100万円安くするために、今それ以上の高額な支出を行って経営状況を悪化させては本末転倒です。必要とする保障以上の保険契約においては、この先何年にもわたって保険料を支払っていく必要があります。資金繰りが悪くなったからといってすぐ解約すれば、その時の解約返戻率に よっては大きな損失となるかもしれません。

各種税金には、その時に政策的に推進したいものに応じて優遇措置が設定されている場合があります。例えば、中小企業投資促進税制や買上げ促進税制(所得拡大促進税制)が挙げられますが、これらは昨今の必然的な人件費の上昇や、必要な設備更新の際に税額控除等を受けられるものですが、当初の申告で適用していなければ後から更正の請求等で適用しようとしても認められないものとなります。節税のために本当に必要ではない支出を行うよりも、使える制度を賢く使うという方向にアンテナを張っていただければと思います。

中西 祐介氏 (なかにし・ゆうすけ) 大学在学中に公認会計士試験に合格し、2005年新日本監査法人に入所。会計監査業務、コンサルティング業務に従事。16年旧旗野洋税理士事務所に入所。18年税理士法人ミットを設立し、社員税理士となる。

不動産・建設全般をグループ会社で展開 退去工事からリフォーム、不動産売買まで

TENSホールディングス（府中市、西村豪社長、042・319・1824）は不動産・建築全般のサービスを提供するグループ会社からなる企業体。持ち株会社のTENSホールディングスはグループ各社の経営コンサルティングを中心に、顧客課題の解決のためのビジネススキーム構築に取り組み、併せてベトナム



人を中心とする有料職業紹介事業、外国人登録支援事業を手掛ける。グループ傘下のダートクリン（府中市）は近年注力する事業会社の一つで、賃貸物件の退去クリーニング、リフォーム工事全般を行う。取引先はエイブル

地域に根ざした「寄り添う介護」サービス 「安全・安心・安楽・自立・尊厳」が経営理念

アクシスツースリー（八王子市、柴道敏雄社長、042・637・8858）は八王子市全域で介護サービスを行っている。30年以上テレビCM制作の仕事をしてきた柴道社長が、介護の仕事を始めたくっかけは、家族が筋萎縮性側索硬化症（ALS）という難病になったこと。



体験を通して、寄り添う介護を目指す柴道社長

「介護される側、介護する家族側の大変さを感じた介護体験により、同じ思いをしている人に寄り添い、サポートできる事業を立ち上げたい」との思いから訪問介護事業所「ケアステーションしばみち」を設立した。地域の市町村、医療福祉機関、各支援機関と連携して、総合的なサービスをを行っている。介護業務が未経験だった柴道社長をサポートしているのは、40年以上の介護経験があるベテラン・スタッフだ。報告会、勉強会を行いながら、柴道社長自身もオンラインで研修を受けて学んでいる。提供しているのは訪問介護、居宅介護、重度訪問介護の3つのサービス。訪問



毎月、スタッフと報告会、勉強会を行っている

介護はホームヘルパーが要介護者の自宅を訪問し、介護や日常生活の世話をを行う。居宅介護は障害のある方が住み慣れた自宅で暮らしながら、生活全般にわたる支援を行う。重度訪問介護では、常に介護を必要とする方に24時間連続介護を提供する。柴道社長は「安全・安心・安楽・自立・尊厳」の原則を念頭に置いて、障害のある方が、住み慣れた場所でストレスなく安心して過ごせるように、今後も「寄り添う介護」を目指していきたい」と話す。

やmini mini、東建コーポレーションなど有名大手を中心とし、多摩地域をはじめ神奈川県へと商圏を拡大中で今期売上10億円を見込む。従業員も増員中だ。

同じく傘下のアロー建物管理（府中市）は賃貸物件の仲介・管理運営を中心に、オーナーの要望に合わせて細かな管理業務サービスを提供する。さらに2023年に新しく事業化したまめや地所（府中市）では不動産の開発・建設を中心に手掛ける他、サウスプリング（府中市、西村美樹社長）ではグループ会社の社宅や保養所の所有、一般賃貸物件の所有、企画運営を行う。



TENSホールディングス社屋

中小企業のドローン活用を支援 国家資格の免許取得のための教育事業も

Hopeful Project（ホープフルプロジェクト）/多摩市、佐々木容子代表社員、042・319・3658）は中小企業のドローン活用を支援している。メインターゲットは建設業。高所点検作業にドローンを利用することで、人手不足解消や業務効率アップにつながることを訴求する。



建物の調査などにドローンが活躍

導入支援だけでなく、単発や定期的なドローン作業も請け負う。巨大倉庫の地下空間で作業する従業員の安全を確保するために、ドローン活用する案件を進めている。ドローンに対する認知を広める活動の一環として、ドローンカフェ「フライング」を運営しており、子供向けワークショップなども開催している。また、



同社が取り扱う「カメラドローン」

忘れ物をドローンで捜索する案件など多様な依頼や相談が入る。2022年12月の改正航空法の施行で「レベル4」飛行が解禁され、人口密集地でもドローンを飛ばせるようになり活用範囲の拡大が期待される。佐々木代表は「ドローンに対するネガティブな印象が、市街地の物流などに使う上での障壁になる心配がある。世の中に正しい認知を広めていきたい」と話す。ドローンに対する認知を広める活動の一環として、ドローンカフェ「フライング」を運営しており、子供向けワークショップなども開催している。また、

BOBセミナー 「時間創出で働き方が変わるExcel活用講座」



BOBイベント「たまちゃんが行く！」
おなじみの岩見誠氏。今回は基本的な文字入力ができる、Excelのさまざまなスキルアップが用意された。講師の岩見誠氏。今回は基本的な文字入力ができる、Excelのさまざまなスキルアップが用意された。

意外に知らないエクセル機能を紹介
ビジネスで欠かせない「Excel（エクセル）」の意外と知られていない使い方を学ぶ「時間創出で働き方が変わるExcel活用講座」が8月4日、たましん事業支援センター（Winセンター）で開催された。講師は、ブレイク専任講師の岩見誠氏。今回は基本的な文字入力ができる、Excelのさまざまなスキルアップが用意された。講師の岩見誠氏。今回は基本的な文字入力ができる、Excelのさまざまなスキルアップが用意された。



盛夏のセミナーにもかかわらず熱心に課題に取り組む参加者

受講者からは「実践的な話が多く、これらの機能を使えばかなりの時短につながる。受講して良かった。さっそく活用します」などの感想が聞かれた。「今日学んだことを一つでも日頃の業務に取り入れてもらえたらうれしい」と岩見講師も話していた。

専門的知識に基づいた介護予防 勉強会や指導員養成講座も実施

武蔵野介護予防研究会

武蔵野介護予防研究会（武蔵野市、荒井義勝代表理事、0422・36・6123）は介護予防の在り方を研究・開発し、介護予防機能訓練の普及に努めている。



柔道整復師の資格を持つ荒井代表理事

現在、実践の場となっているのが「武蔵野市介護予防体操教室」だ。市との協

業事業で、23年度は3期全30回を実施する。教室ではまず可動域を広げる運動

次に筋力をつける運動を行っている。足首や股関節を保つようになるという。

「手順を踏み、運動する意味や意義を理解してもらうことが大切。また、教室では寝て行う運動もします。寝てから起き上がる動作を練習することで、寝たきり生活を防ぐことができ

ます」と荒井代表理事。また、「膝や関節が痛くて歩くのが億劫」「姿勢良く歩きたい」という人向け

大人気のフルーツサンド専門店 持ち運びに便利なショートケーキ缶も販売

八王子店



カラフルなフルーツサンドが並ぶ



黒澤代表は八王子店のある中野上町出身

販売も計画している。

纏八王子店（八王子市、黒澤大城代表、042・649・6616）はいま人気のフルーツサンドの専門店。黒澤代表は八王子市の出身で、地元の食品会社に勤めていたが、徳島発のスイーツ専門店「纏」のフルーツサンドを食べる感動し、2022年11月にフ

店をオープンした。「纏」のフルーツサンドは、旬の果物をクリームチーズ仕立てのクリームで包んだ甘さ控えめのさっぱりとした味が特徴。見た目も華やかで人気を集めている。定番メニューはいちご、バナナ、みかん、メロン、マンゴー、シャインマスカットなど15種類。これ

に「つぶつぶりんご紅茶」、桑都・八王子にちなんだ桑の葉を使った「翡翠（ひすい）」など八王子店オリジナルのメニューも提供する。さらに

八王子産の果物を使ったフルーツサンドを増やし、地域の名物にできないかと八王子市内で協力してくれる「果樹農家」を探している。

23年夏からは、子どもや女性でも食べやすいハーフサイズのフルーツサンドも販売を開始した。また、全国でも話題になった、持ち運びに便利なショートケーキ缶も販売。こちらはいちご、みかん、バナナ、キウイなど7種類ある。

「生ものですが、取引先への手土産にも使って欲しい。話題性もあり若い社員や女性社員の多い企業で喜ばれると思

ばれると思いが、取引先代表は話す。まずは1号店を定着化させた後、将来的にはキッチンカーでの出張販売も計画している。

観葉植物のリースと植木・花の維持・管理 インテリア、エクステリア両方の園芸に精通

MY GREEN



パン店の観葉植物

細かな手入れの技術を庭木の剪定に生かしたり、両方の経験が強みとなっている。花屋から植木について、また植木屋から花や観葉植物について質問されるなど、同業者から相談を受けることも多い。大規模な植木の仕事では、職人とチ

MY GREEN（マイグリーン）多摩市、熊谷賢太郎社長、042・402・6900）はオフィス、カフェなどの観葉植物のリース・メンテナンスや、飲食店などの店舗周りの植木の維持・管理を行っている。カフェに飾るデザイン性の高い花植えを作ることもある。重機を使った高木の剪定・伐採も行うなど、ニーズに合わせて幅広く園芸全般に携わる。

熊谷社長は観葉植物リースの会社に勤務していた時に業務の一環として造園を学び、会社の事業として植木・花も扱い経験を積んだ。そして、2023年1月にその会社から植木・花の業務を継承する形で同社を創業した。

細部まで手を抜かず仕事に取り組み熊谷社長は「歩けない・喋れない植物の味方になりたい。植物にもお客さまにも喜んでもらえる仕事をしたい」と話す。取引先から交換回収した花を「廃棄するのはかわいそう」という理由から、子どもでも買えるように10円で販売する試みも始めた。



個人宅の庭を和のテイストにリニューアルした例

には「正しく楽しく歩く会」も実施。歩き方のコツは筋力より身体の動かし方にある。正しい歩き方を学ぶことで、下肢運動器疾患を予防し、元気に歩き続けられるという。

「小児運動機能の発達についても学び、機能訓練に生かしています。例えば、子どもは最初に首がすわりま

と荒井代表理事は話す。会では幅広い知識を習得するための定期的な勉強会や「指導員養成講座」も開催している。今後は共感していただけるメンバーを増やし、連携できる地域エリアの拡大を目指していく。また、「若年層から学ぶ介護予防学習」など、



武蔵野市の総合体育館の柔道場で実施している「武蔵野市介護予防体操教室」

新たな分野にもチャレンジしていく予定だ。

第21回 特別版 ※Miyacology[首都学]

TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY 東京都立大学

Miyacology Letters

ミヤコロジー レターズ

産学公連携スペース TMU Innovation Hub 日野キャンパスにて始動!

東 京都立大学では2023年10月、日野キャンパスの工学系新棟（6号館）に、産学公連携スペース「TMU Innovation Hub」を開設します。本スペースを拠点として、本学の研究成果や研究機器共用センターなどのリソースを活用したスタートアップ創出や大学発スタートアップの支援を行い、多摩地域の振興に貢献していきます。

◇ ◇

TMU Innovation Hub の機能は大きく分けて右記の4つです。

- ① **インキュベーションルーム**
ウェットラボ仕様7室（26.5～73.0㎡）とオフィス仕様3室（約13.5㎡）の個室型の施設。インキュベーションマネージャーによるメンタリング、起業に向けた専門家によるサポートをはじめ、入居者を対象とした各種支援策を展開
- ② **オープンイノベーションスペース**
建物入口付近に配置したイベント等を開催するための開放的なスペース。200インチの昇降型スクリーンを設置し、新たなイノベーション創出の場として活用

- ③ **イノベーションブース**
各種セミナーや小規模なイベントを開催するための収容定員20名のセミナールーム。三面ガラス張りの明るい室内に86インチの多機能型モニターを設置。地域の交流の場としても活用
- ④ **研究機器共用センター**
クリーンルーム、精密計測機器室、特殊加工室、シールド防音測定室を配置。蒸着装置・3Dプリンター・電子顕微鏡・レーザー振動計など工学系の高機能かつ汎用性の高い研究機器を設置し、企業の新製品開発へ向けた研究や

試作・試験等に対応。

◇ ◇

また、本学が事務局となり、多摩地域の大学・研究機関、自治体、金融機関、企業等の多様な機関が連携協力して、ベンチャーの創出と育成の支援、活性化を推進するプラットフォーム「TAMA-LEAP」を設立。

施設拠点としてのTMU Innovation Hubと支援プラットフォームTAMA-LEAPの立ち上げにより、ハード面・ソフト面双方から多摩地域の産学公連携・イノベーションの創出を推進していきます。



オープンイノベーションスペースは多摩産材を使用



日野キャンパス6号館新棟



TMU Innovation Hub HP

紹介受注で依頼の絶えないリフォーム会社 多彩な職人との信頼のネットワーク構築

ワンネイル One Nail

One Nail（ワンネイル）武蔵村山市、小川義政社長、042・520・2224）は多摩地域を中心に首都圏の住宅、マンション、店舗、商業ビルなどのリフォーム・改装を請け負っている。同社は紹介受注というスタイルをとっているのが特徴。

「良いリフォームをしてくれる会社がある」と顧客が顧客を紹介してくれる。営業もしなければ、広告も出していない。それでも相談や仕事の依頼は絶えず、依頼は一般顧客と業者が半々だ。

小川社長は顧客の思いやイメージを聞き、図面や段取りをコーディネートし、協力業者に作業を依頼する。リフォームでは実際に作業してみないと状況がわからないことも多く、協力業者も悩むことがある。小川社

メディカルフィットネスジムを開業 専門家連携で「自律支援」を目指す

Colors

Colors（カラース）/小平市、秋山敬二社長、042・313・28035）は「かなでケアステーション」を運営し、訪問看護事業と住宅介護支援事業を行っている。障害や病気を抱えても「自分らしく生きることを尊重したい」という人に寄り添い、より良い生活に結び付け「自律支援」を目指している。

施設運営で特に大切にしているのがチーム連携だ。例えば、歩けないということとは運動能力の他にも体調や精神面などさまざまな要因がある。看護師、リハビリ職、ケアマネジャーや家族そして地域が一丸となり、その要因を幅広い視点で探り、利用者をサポートしている。

しかし、事業で問題となっているのが支援の持続化・継続化だ。リハビリは目標に達すると支援が終了するが、利用者にとって専門家のサポートがなくなる不安は大きい。そのため支援がなかなか終了できないケースがある。そこで同社では2023年4



最先端機器がそろった「COLORS」



高い理想を持つ秋山社長

のサポートがなくなる不安は大きい。そのため支援がなかなか終了できないケースがある。そこで同社では2023年4

「高い経営理念を掲げている。課題はたくさんあるが、『楽しい』を提案することで社会問題を解決していきたい」と秋山社長は語る。

長は、その都度顧客に状況を伝え、合意を得ながら、現場監督として素早く最善策を決定する。そして顧客の希望にあった完成度の高いリフォームを実現する。こうした臨機応変な指示に対応してくれる職人との信頼関係やネットワークこそが小川社長の武器であり魅力だ。



リフォーム業界歴20年の小川社長

社名のネイルには「釘」と「爪」という意味があり、「ひと手間かけてネイルアートのようにきれいで気持ち良く、快適なリフォームを実現する」という思いが込められている。

「最適・最善な改装ができた時は自分も感動します。お客さまとこの瞬間を共有できるのが醍醐味。それを協力業者に伝えることでさらに盛り上がるんです。今後も目の前の顧客を最大限大切にしていきたいです」と小川社長は語る。



協力業者との交流にも力を入れる

「疾患や障害があっても自らが自由に選択できるサービスを提供し、もっと前向きになれる空間を作りたかった」と秋山社長。ジムは健常者・障害者に関係なく誰でも利用でき、火曜日を重度の障害者向けの特別指導日に当てている。すでに50人以上が在籍し、経営も黒字化している。

検品、パッケージ、配送をワンストップで 丁寧かつ迅速な対応で出荷業務請負

ゴンスケ

ゴンスケ（八王子市、川野辺節社長、042・670・6635）は神奈川県厚木市に300坪の倉庫を持ち、大手映画配給会社や大手ラジオ局などからノベルティ、キャンペーングッズの検品・パッケージ作業、配送・出荷作業を請け負っている。

海外で製造された商品を直接コンテナなどで受け取り、ワンストップで検品オーダーにあわせてパッ

ケーシングし、全国の販売店舗やイベント会場に配送手配をする。

創業は2002年。当初はCD、DVDのプレス業として開業。大手レコード会社や音楽事務所から、有名アーティストやアイドルの10万枚、100万枚単位のプレスの依頼が相次ぎ、繁忙を極めた。しかし、音楽や映像の伝達方法の主流がデータに移行し、事業としては落ち着いてきた。そこ

で倉庫、検品、パッケージ作業、配送というインフラとノウハウを生かし、もう一つ事業の柱を生み出した。

最近ではバッグなど豪華なグッズを付録につける雑誌が増えているが、書店に向け、グッズの検品や箱詰め、梱包、配送などの業務も行う。また、エアコンのダクトのパーツや自動車部品の検査・梱包、配送業務も受託している。

同社は8人の社員を含め



神奈川県厚木市にある300坪の倉庫



川野辺社長。倉庫には大量の依頼品が並べられていた

多くのアルバイトが、それらの各種作業を内製で行う他、障害者支援施設や高齢者支援施設に作業依頼なども行っている。

「ワンストップで受託できるのが当社の強みです。丁寧かつ迅速な対応を心掛けていきます。検品やパッケージ作業、出荷のお悩みはぜひ当社に相談ください」と川野辺社長は語る。

BOBセミナー 「心理的安全性の高い職場づくりの秘訣」



「聴いて終わりではなく行動に移してほしい」と話す中村講師



心理的安全性とは、組織や集団の中でも自然体の自分でいられる環境のこと。心理的安全性の高い職場は生産性が高く、離職率も低くコンプライアンスへの意識が高い。心理的安全性の重要性を理解し、より良い職場づくりの秘訣を解説するセミナー「心理的安全性の高い職場づくりの秘訣」が8月2日、たましん事業支援センター（Winセンター）およびオンラインのハイブリッド形式で開催された。

講師はGentle社長の中村成博氏。日本マクドナルド勤務時代に楽しく働ける環境づくりを徹底し、

「心理的安全性を損なう4つの原因と心理的安全性を測る7つの質問をもとに、自分の職場は心理的安全性が高いのかどうかを参加者に考えてもらった。そして、最高のチームとはどういう集団か、雰囲気の良い職場のポイントとは何かを紹介し、心理的安全性の高い職場づくりのための秘訣を自身の経験を踏まえて解説していった。

働き方が多様化する中で、違いを生かすことがポイントとなる。「長所は仲間の役に立つためのもので、短所は仲間の長所を生かすためのもの（人（部下）は変えられないが、変わりはある）」と中村氏は語る。

参加者は「職場を変えるには、まずは自分が変わる。心に余裕を持ちながら働くために、自身の仕事の進め方等を見直す良い機会になった」と感想を話していた。

参加者はレジメの空欄に記入しながら学んだ



参加者はレジメの空欄に記入しながら学んだ

実践あるのみだニヤン

日野市企業特集

日野市の企業を紹介いたします。

防水施工に特化して28年 FRP防水施工数は日本トップレベル

大同ポリマー

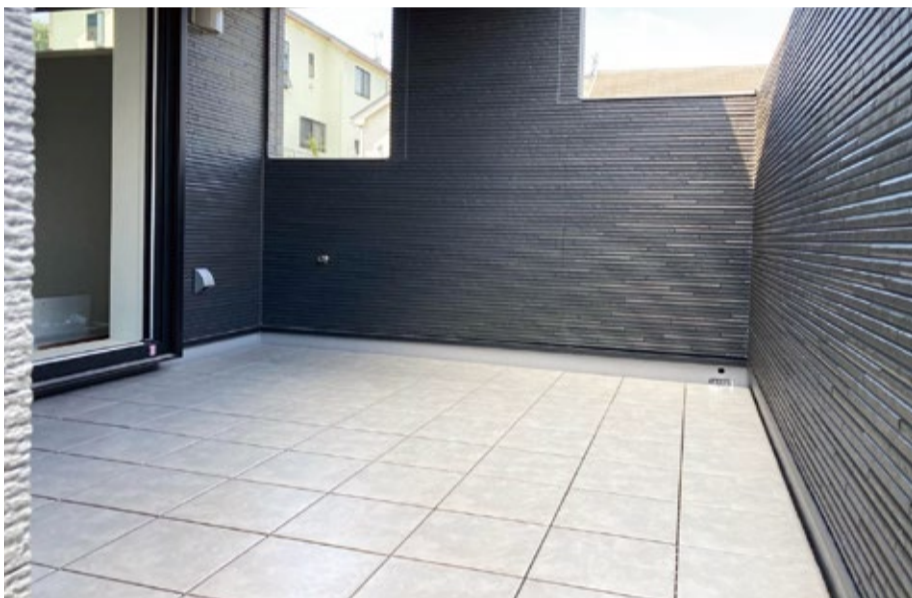
大同ポリマー（日野市、阿竹正貴社長、042・599・7088）は木造戸建て住宅のベランダ・バルコニーの防水施工を関東、中京圏で展開。FRP防水施工数は年間約1万件と日本トップレベルの実績を誇る。アイカ工業の指定工事代理店で2010年に防水工事業として、国土交通大臣許可の一般建設業許可を取得した。



FRP防水のトップコートを塗布した状態

FRP防水はFRP（繊維強化プラスチック）の特性を防水分野に応用したもので、防水層は軽量かつ強靱で、耐久性・耐食性・耐候性に優れ、外観的にもきれいな仕上がりとなる。他の防水工事に比べて工期が短く、補修しやすいメリットもある。

工務店やハウスメーカーなどから仕事を請負っており、取引先は年間約500社に及ぶ。防水加工の技術力が認められているのはもちろんだが、創業以来28年にわたり防水加工に携わっている信頼感も同社が選ばれる大きな理由だ。防水施工の漏水保証は新築で最長10年と定められているので、長期にわたるアフターサポートの実績が取引先へ安心感を与えている。



バルコニー床材をFRPの上に敷いた施工例

「住み継がれる家づくり」を目指す 創業50年の地元密着工務店

矢内工務店

矢内工務店（日野市、矢内智洋社長、042・583・5163）は1975年の創業以来、日野市と八

王子市に根を張り、地域の工務店として住宅やビルの建築・建設、リフォーム全般、外溝・造園工事を行ってきた。日野市には同社が手掛けたビルや住宅が多数あり、まもなく創業50周年を迎える。

地域の気候風土を知り、地域密着で何でも相談でき、アフターケアも安心なのが地元工



新工法などにも研究熱心な矢内社長

務店の魅力だ。同社は、「お客様に信頼される誠実な企業でありたい」を社是に掲げ、「伝統的な在来工法」「木造軸組工法」による熟練職人の技術と、細部まで行き届いた家づくりで地域に信頼を築いてきた。適切なメンテナンスで世代を越えて「住み継がれる家づくり」

「すべての人が笑顔になれる家づくり」を目指す。一度縁のあった顧客との絆を大切にし、お客さまには手紙とともにお中元・お歳暮などを贈ることも欠か

コロナ禍で新築工事は減っているが、工務店がリフォームに力を入れるようになり、リフォームでの防水施工が増えている。「愚直に真面目に防水施工に取り組んでいます。20年

に二代目の社長となり、より収益を出せる会社を目指しています。今後は公共事業にもFRP防水施工を採用してもらえよう働きかけを進めていきたい」と阿竹社長は話す。

ささい。最近ではリフォームにも力を入れていて2代、3代続く相談や依頼も多い。

一方で、矢内社長は新しい材料や技術・工法などの勉強も熱心だ。そうした知識や技術を自社に留めるだけではなく、日野市商工会の建設部会長として、建設部会でも積極的にセミナーや勉強会を開く。

「質より量」の時代から「量から質」へと、またトレンドが変化してきました。時代にしっかり対応しながら、これからも地域密着の工務店の在り方を追求していきたい」と矢内社長は話す。



本社前で。一番右が矢内勇吉会長、中央が矢内社長

フラワーアートで地域と新しいつながりを 半導体ショックからハンドメイド事業を開始

ユーコー電子工業

ユーコー電子工業（日野市、橋本雅美社長、042・587・3807）は1982年の設立以来、大手電機メーカー向けに電子機器基板のハンダ付け作業をはじめ、巻線コイルの製造・加工・アッセンブリ・修理などを手掛ける。

ハンダ付け作業では熟練の作業者が実体顕微鏡下で狭ピッチリードの部品の着脱を行う。現在約10人の技術者が在籍し、小ロットの細かなオーダーにも迅速に対応できるのが強みだ。

ROHS製品については専用フロアを完備し、完全に隔離して製造・管理を行っている。

また、巻線部品を手作りで行うのも同社の特長で、コイル、トランスなど、多品種小ロットのニーズに対応する。

その他にも電子機器用の配線の製作も対応しており、放送通信関係の配線も数多く手掛けている。



「お客さまの顔が見えるからこそ得られる気づきも多い」と話す橋本社長

これらの電子機器・電子部品事業に加え、2020年から新しく取り組むのがハンドメイド事業の「ohana-yuko」だ。きっかけは新型コロナウイルス禍での「半導体不足」だ。

「仕事が激減し、『何かやらなければ』と従業員が自主的に提案したものです」と橋本社長。フラワーアートができる従業員が作品を作り始め、いまではフロアの一角に設けられたショールームでの展示・販売、ワークショップも定期的に開催している。

さらに日野市とゆかりのある新選組の「だんだら模様」をデザインしたアクセサリの製作も始め、フラワーアートとともに市内のイベントなどにも出店している。

「まだまだ始めたばかり

ですが、BtoCの事業を始めて地域とのつながりが

出てきて、何より従業員の意識が変わりました。日野市の一企業として再認識し、これからも地域の役に立てる存在でありたい」と橋本社長は話す。



ショールームにはアクセサリも展示・販売されている

たましんリースは「リース」を通じて多摩地域に貢献してまいります。

経費削減、お客さま、設備、地域、たましんリース、課題解決、事務の合理化、たましん、資金の効率運用

たましんリース株式会社
 ご連絡先 TEL.042-528-1131
 〒190-0012 東京都立川市曙町 2-8-28 TAMA MIRAI SQUARE 7F
 FAX.042-528-1892 <https://www.tamashin.jp/lease>

Worker!

ワーカー

多摩で働く人を応援する Worker (ワーカー) コーナーです。「多摩の魅力」や「多摩でキラメク、カガヤク、ガンバル人」をどんどんご紹介しします。

たまちゃん
が行く!



多摩の魅力を
発信!!

ストレスを抱え込まないように、
趣味のスポーツや
美味しいお酒を飲むこと

株式会社スタッフ
谷津克浩さん



健康のために何か やっていますか?

楽しく生きることが
大事だニャン

まずは**半身浴**。
炭酸水とスマホを
持ち込んで
2時間ゆったり
過ごします

ドリームサポート 社会保険労務士法人
馬場八与さん

たま NAVI アンケート
セミナー参加者(有効回答者154人)に
「夏バテ予防」についてお聞きしました!

Q 夏バテ予防は何ですか?

2015年、18年に続いて今回が3回目の「夏バテ予防」アンケートです。これまでは「水分補給」がトップでしたが、今回初めて「睡眠・休養」が1位になりました。連日の猛暑による熱中症の増加で、エアコン使用が浸透したためか、「エアコンで調整」が年々順位を上げて3位となる一方、「冷房を使わない」という回答は年々減少し、最下位となりました。

さらに、メディアや自治体からの外出を控える要請を受けてか「外出しない」という回答が順位を上げました。

「その他」としては、「適度な運動」「趣味など楽しいことをする」という回答が多くありました。

猫はやっぱり睡眠・
休養第一だニャン

夏バテ予防は何ですか

	2023年	2018年	2015年
1	睡眠・休養	水分補給	水分補給
2	水分補給	睡眠・休養	睡眠・休養
3	エアコンで調整	規則正しい生活	スタミナ料理
4	規則正しい生活	エアコンで調整	規則正しい生活
5	塩分補給	スタミナ料理	エアコンで調整
6	スタミナ料理	帽子・日傘	帽子・日傘
7	帽子・日傘	塩分補給	塩分補給
8	外出しない	気力	冷房を使わない
9	気力	冷房を使わない	気力
10	何もしない	外出しない	外出しない
11	冷房を使わない	何もしない	何もしない
12	その他	その他	その他

好きなものを
いっぱい食べて、
十分睡眠を
とること

株式会社喜八屋
横濱美香さん

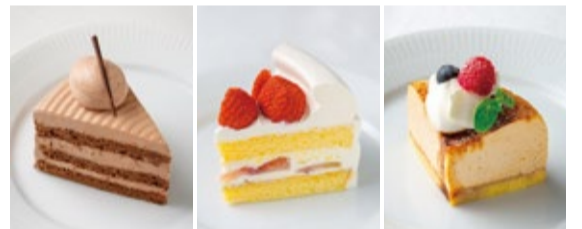
まずは
健康診断に
向けて、
ダイエットに
励みます(笑)

株式会社富士管理
野田雄太さん

私のおススメ お気に入り

~おススメ・お気に入りを「こっそり、
教えていただきました!~

株式会社 TENS ホールディングス
西村豪さんの推薦
**ジェノワーズ洋菓子店の
ケーキ各種**
チョコレートやガトーフリーズが
とても美味しく、お気に入りです



季節のケーキがたくさん並ぶショーケース



左から甘さ控えめな「チョコレート」、北海道産生クリームとフレッシュいちごを使用した「ガトーフリーズ」、お店イチオシのとろり食感の「半熟チーズケーキ」

ジェノワーズ洋菓子店

- 東京都府中市押立町1-3-19
- TEL:042-363-8795
- 営業時間:10:00~20:00
- 京王線「武蔵野台駅」から徒歩約10分
- <https://genoise.jp>

「あの店の商品は絶品!」「私だけが知る穴場スポット」など、本当は教えたくないけれど……、でも知ってほしい!そんな多摩地域の「おススメ・お気に入り」をぜひ教えてください。

* BOB 事務局へ直接お電話かEメールでお知らせください。

身近な出来事を「経営学」の視点で
わかりやすくお伝えします!

なるほど! 暮らしの中の経営学

第34回

何かの終わり



明星大学
経営学部教授

石橋貞人

前号(たま NAVI106)で紹介した右肩の骨折手術から3カ月以上経った。おじいさん、おばあさんに交じってリハビリをする日々である。それまでの「ツツウ」の生活、から一転、なんでもない所で転び大ケガをしたこと、入院時には痛くて年甲斐もなく男泣きしてしまったことを思い出す。手術も終わり、その後も続く痛みや、腫れあがった右腕を見ては「本当に直るのかな」と不安になり、将来をあれこれ思い悩んでいた時期もあった。そして、悩み疲れて、「もうどうでもいいや、やれることをやろう」と開き直って、せせとリハビリをしている今がある。

皆さんの中でも、突然の転倒・配置換え、役職定年でヒラ社員になる、子供の出産、親

の介護といったように、仕事や生活が、ある日突然変わることはないだろうか。

米国のキャリア研究者ウィリアム・ブリッジズ氏によれば、キャリアは、「長い安定期」と「短い重要な転機」があり、さらに転機には、以下の3段階のプロセスがあるという。

第1段階は、これまでの長い安定期の状況が終わったことを実感する「何かの終わり」。第2段階は、元の状況には戻すことはできないが、新たな状況にも十分対応できていない状態で、新しい状況に対応するために自己を内省して精神的方向づけを行う「中立ゾーン」。第3段階は、新たな世界の入り口に立った状態である「何かの始まり」。そして、転機を迎えた人に対しては、「何かの

終わり」と「中立ゾーン」の各プロセスに十分に時間をかけて、不安の払拭や精神的方向付けへ対応することが必要であると述べている。

昔のサラリーマンであれば、突然の変化に悩んでいる部下に対して「自分のことだから、自分でなんとかセーイ!」と言っていたところだが、もし部下が、変化に戸惑っているようであれば、丁寧に相談に乗るとともに助力してあげることも必要だろう。早く新たな「何かの始まり」を気持ちよくスタートさせてあげたいものだ。

石橋貞人氏(いしばし・さだひと)
明星大学経営学部経営学科教授。専門は人的資源管理、組織心理学、同族経営。



BOB開催情報

たましん法人総合サービスBOBでは、経営支援や営業支援、新入社員教育、ビジネススキルアップ、パソコン講座、交流会など、多彩なセミナーやイベントを、年間を通じて行っています。積極的にご活用いただき、御社の経営にお役立てください。



経営支援

生成AI時代のコンテンツ・ブランド法務

伊藤大地氏 ■参加費 無料 ■定員 30名

11月14日(火)
セミナー 午後1時30分～午後3時30分
相談会 午後3時30分～午後4時30分
会場:立川

営業マンのポジティブスイッチと顧客の買いたくなる心理

東條裕一氏 ■BOB会員・創業会員 無料 / 非会員 1,000円 ■定員 30名

11月29日(水)
午後1時30分～午後4時30分
会場:立川

BOBセミナー

リーダーシップの基礎

仲澤尚氏 ■BOB会員・創業会員 無料 / 非会員 1,000円 ■定員 30名

11月7日(火)
午後2時～午後4時
会場:立川

オンラインBOBセミナー

大人気スイーツ「シャトレゼ」躍進を支えるブランドコミュニケーション戦略

中島史郎氏 ■BOB会員・創業会員限定 無料 ■定員 オンライン会員限定 50名

11月22日(水)
午後2時～午後3時30分

組織の人材育成 成功への鍵

八木香苗氏 ■BOB会員・創業会員 無料 / 非会員 1,000円 ■定員 会場参加30名 オンライン会員限定 50名

12月22日(金)
午後2時～午後4時
会場:立川

◆立川会場
たましん事業支援センター (Winセンター)
立川市緑町3-4 たましん本店3F



※定員になり次第、締切らせていただきます。
※費用はすべて税込です。
※駐車場のご用意はございません。公共交通機関をご利用ください。
※オンライン参加はBOB会員・創業会員限定です。
※詳細については、チラシおよびBOBホームページでご案内させていただいております。お気軽にお問い合わせください。

人事労務

新標準の人事評価セミナー

安中繁氏 ■BOB会員・創業会員 無料 / 非会員 1,000円 ■定員 会場参加22名 オンライン会員限定 50名

12月4日(月)
午後2時～午後4時
会場:立川

若手社員が辞めない職場づくりのヒント

中藤美智子氏 ■BOB会員・創業会員 無料 / 非会員 1,000円 ■定員 30名

12月6日(水)
午後1時30分～午後4時30分
会場:立川

人財育成

新入社員フォローアップ研修

桑野麻衣氏 ■BOB会員・創業会員 無料 / 非会員 1,000円 ■定員 30名

12月13日(水)
午後1時30分～午後4時30分
会場:立川

経理

年末調整の実務ポイント総点検

鈴木佑介氏 ■BOB会員・創業会員 無料 / 非会員 1,000円 ■定員 会場参加30名 オンライン会員限定 50名

11月8日(水)
午後1時30分～午後4時30分
会場:立川

ビジネススキル

伝わるビジネス文章の書き方

西川元一氏 ■BOB会員・創業会員 無料 / 非会員 1,000円 ■定員 30名

11月16日(木)
午後1時30分～午後4時30分
会場:立川

自己啓発

リーダーのためのコーチング研修

小倉環氏 ■BOB会員・創業会員 無料 / 非会員 1,000円 ■定員 30名

12月21日(木)
午後1時30分～午後4時30分
会場:立川

パソコン講座

Excel関数活用 中級講座

岩見誠氏 ■BOB会員 2,000円 / 創業会員・非会員 6,000円 ■定員 15名

11月17日(金)
午後1時30分～午後4時30分
会場:立川

Excel基礎編

近藤製津子氏 ■BOB会員 2,000円 / 創業会員・非会員 6,000円 ■定員 15名

11月27日(月)
午後1時30分～午後4時30分
会場:立川

Excel関数活用 上級講座

岩見誠氏 ■BOB会員 2,000円 / 創業会員・非会員 6,000円 ■定員 15名

12月7日(木)
午後1時30分～午後4時30分
会場:立川

Excel応用編

近藤製津子氏 ■BOB会員 2,000円 / 創業会員・非会員 6,000円 ■定員 15名

12月18日(月)
午後1時30分～午後4時30分
会場:立川

たましんからのお知らせ

「たましん法人総合サービスBOB」から「TAMA Big Advance」へ事業者向け会員サービス移行のお知らせ

「たましん法人総合サービスBOB」は会員サービスの機能を向上するため、2024年5月1日から新サービス「TAMA Big Advance(タマビッグアドバンス)」へ移行いたします。

「Big Advance」は全国85の金融機関が連携して、さまざまな経営課題の解決をサポートする会員制WEBサイトです。全国約7万の会員先との広域ビジネスマッチングなどのサービスが活用できます。また、たましん独自のサービスとして、ビジネスダイレクト月額利用料の優遇や会員向けセミナー等も実施する予定です。

- 「TAMA Big Advance」はBOBと運営が異なるため、別途ご加入手続きが必要となります。
- 2023年11月1日から「TAMA Big Advance」HPで予約申し込みができます。会費は月額3,300円(税込み)で、クレジットカード払いとなります。
- BOBの現行サービスは2024年4月30日までご利用いただけます。サービス期間満了の24年5月以降の年会費につきましては、未経過分を月割でご返金いたします。

これまでのBOBに対するご愛顧に深く感謝するとともに、今後は「TAMA Big Advance」のご利用をご検討いただければ幸いです。

「TAMA Big Advance」の詳細については、BOB会員さまにご郵送したリーフレット、または、下記にお問い合わせください

[TAMA Big Advance に関するお問い合わせ]
多摩信用金庫 価値創造事業部 法人支援グループ TEL:042-526-7720
[BOB サービスに関するお問い合わせ]
株式会社多摩情報メディア BOB事務局 TEL:042-526-7730

専門家による相談会

たましんでは、お客さまの法律、経営・税務、創業・コミュニティビジネス、事業承継の課題にお応えするため、弁護士、公認会計士・税理士など各分野の専門家による無料相談会を開催しております。

予約制 ご予約はたましん本支店へご連絡ください。

2023年
11月・12月
の予定

会場:たましん事業支援センター(たましん本店3F)

法律相談会:2023年11月1日(水)・15日(水) / 12月7日(木)・20日(水)

経営・税務相談会:2023年11月8日(水)・22日(水) / 12月13日(水)・26日(火)

※本セミナー・相談会への反社会的勢力の参加はお断りいたします。

会場:桜ヶ丘支店(多摩市ノ宮3-1-5)

事業承継相談会:2023年11月2日(木)

会場:永山支店(多摩市諏訪2-12アクロスビル3F)

事業承継相談会:2023年12月7日(木)

たましん法人総合サービスBOB事務局

TEL.042-526-7730 FAX.042-526-7793

URL:https://www.bob-net.jp
E-mail:info@bob-net.jp